



2025年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年10月30日

上場会社名 株式会社エージーピー 上場取引所 東
コード番号 9377 URL <https://www.agpgroup.co.jp/>
代表者（役職名）代表取締役社長執行役員（氏名）杉田 武久
問合せ先責任者（役職名）取締役執行役員（氏名）竹山 哲也 TEL 03-3747-1631
半期報告書提出予定日 2024年11月14日 配当支払開始予定日 2024年12月3日
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2025年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年4月1日～2024年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期中間期	6,601	9.9	502	43.1	548	54.5	375	78.2
2024年3月期中間期	6,006	15.8	351	—	354	—	210	—

（注）包括利益 2025年3月期中間期 358百万円（60.0%） 2024年3月期中間期 223百万円（—%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期中間期	28.72	—
2024年3月期中間期	16.12	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期中間期	13,002	9,307	71.6
2024年3月期	13,796	9,353	67.8

（参考）自己資本 2025年3月期中間期 9,307百万円 2024年3月期 9,353百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	15.00	—	30.00	45.00
2025年3月期	—	20.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	25.00	45.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,310	10.2	1,070	1.0	1,120	4.2	750	8.8	57.38

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2025年3月期中間期	13,510,000株	2024年3月期	13,510,000株
2025年3月期中間期	441,435株	2024年3月期	441,835株
2025年3月期中間期	13,068,463株	2024年3月期中間期	13,067,872株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(中間期)

(注) 期末自己株式数および期中平均株式数には株式給付信託(J-ESOP)に残存する当社株式を含めておりません。

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料については、決算発表後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

(決算説明会の開催予定日)

当社は2024年10月31日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	8
中間連結損益計算書	8
中間連結会計期間	8
中間連結包括利益計算書	9
中間連結会計期間	9
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	13

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における当社を取り巻く外部環境としては、物価や人件費の上昇、人材不足などの課題に直面している一方、円安を背景としたインバウンド需要は堅調に推移し、引き続き訪日外客数は過去最高を上回る水準を示しており、航空需要は伸長しております。

このような状況における当社業績は、国際線の運航便数増加に伴い、動力供給事業は堅調に推移したことに加え、エンジニアリング事業は更新工事等が増加、商品販売事業はGSE販売が堅調に推移した結果、売上高合計は66億1百万円と前年同期比5億94百万円(9.9%)の増加となり、全セグメントにおいて増収となりました。

営業利益は5億2百万円と前年同期比1億51百万円(43.1%)の増益、経常利益は営業外収益の増加により5億48百万円と前年同期比1億93百万円(54.5%)の増益、親会社株主に帰属する中間純利益は3億75百万円と前年同期比1億64百万円(78.2%)の増益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力供給事業

東アジアや東南アジアからのインバウンド需要が堅調に推移し、運航便数の増加に伴い、電力供給機会が増加した結果、売上高は29億70百万円と前年同期比1億98百万円(7.2%)の増収となりました。

セグメント利益は、増便に伴う設備稼働の向上により、5億94百万円と前年同期比1億27百万円(27.2%)の増益となりました。

② エンジニアリング事業

施設保守に関連する機器の更新工事が増加したことに加え、特殊機械設備¹の自動手荷物預け機の設置工事や旅客手荷物搬送設備の更新工事等が増加しました。ビジネスジェット支援は、定期駐機数が増加に伴い、堅調に推移しています。また、空港外領域の物流倉庫関連設備における保守業務のプライシング改善に加え、施工管理等の技術者支援業務に応需した結果、売上高は31億77百万円と前年同期比3億34百万円(11.8%)の増収となりました。

セグメント利益は、増収により6億36百万円と前年同期比94百万円(17.5%)の増益となりました。

③ 商品販売事業

フードシステム販売は、介護・福祉施設へのカート販売が減少しました。一方、GSE²等販売は、航空機用電動ブレーキクーリングカート等の販売が増加した結果、売上高は4億53百万円と前年同期比61百万円(15.7%)の増収となりました。

セグメント損失は、前年同期の31百万円から29百万円へと改善しました。

¹ 特殊機械設備とは旅客手荷物搬送設備及び旅客搭乗橋設備

² GSEはGround Support Equipmentの略称で、航空機地上支援機材の総称

(単位：百万円)

	売上高			セグメント利益又は損失(△)		
	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比 (%)	2024年3月期 中間期	2025年3月期 中間期	前年同期比 (%)
動力供給事業	2,772	2,970	107.2	467	594	127.2
エンジニアリング事業	2,842	3,177	111.8	541	636	117.5
商品販売事業	391	453	115.7	△31	△29	—
合計	6,006	6,601	109.9	977	1,201	122.9
全社費用*	—	—	—	626	698	111.6
営業利益	—	—	—	351	502	143.1

*全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 当中間期の財政状態の概況

(資産)

流動資産は、前連結会計年度(以下「前期」という)末比6億39百万円(8.8%)減少の66億30百万円となりました。これは、主に現金及び預金が7億75百万円、営業未収入金が3億70百万円減少し、棚卸資産が5億28百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比1億54百万円(2.4%)減少の63億72百万円となりました。これは、有形固定資産が1億11百万円、無形固定資産が10百万円、投資その他の資産が32百万円減少したことによります。

この結果、総資産は前期末比7億93百万円(5.8%)減少の130億2百万円となりました。

(負債)

流動負債・固定負債は、前期末比7億47百万円(16.8%)減少の36億94百万円となりました。

これは、主に未払金が4億83百万円、借入金が1億14百万円、未払費用が97百万円、未払法人税が34百万円減少したこと等によります。

(純資産)

純資産合計は、前期末比46百万円(0.5%)減少の93億7百万円となりました。これは、剰余金の配当及び親会社株主に帰属する中間純利益を加減算した結果、利益剰余金が29百万円減少したこと等によります。

(3) 当中間期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、3億81百万円となりました。これは、税金等調整前当期純利益が5億50百万円となり、減価償却費が3億2百万円、棚卸資産の増加額が5億28百万円、売上債権の減少額が3億24百万円であったこと等によります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は、有形固定資産6億42百万円の取得があったこと等によります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は、5億23百万円となりました。これは、配当金の支払額が4億5百万円、長期借入金の返済が1億14百万円であったこと等によります。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期の通期連結業績予想につきまして、直近の業績等を勘案し、2024年5月13日に公表した業績予想を修正いたしました。また、2025年3月期の期末配当予想につきましては、1株当たり20円から5円増配の25円に修正いたしました。詳細につきましては、本日(2024年10月30日)公表いたしました「業績予想の修正ならびに剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正(増配)に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,848,921	3,073,047
受取手形	350	228
営業未収入金	2,251,776	1,881,618
電子記録債権	1,947	9,195
契約資産	27,658	66,128
商品及び製品	112,251	320,025
仕掛品	99,097	310,207
原材料及び貯蔵品	649,791	759,466
前渡金	93,359	25,867
前払費用	161,907	166,335
その他	24,126	19,778
貸倒引当金	△1,712	△1,712
流動資産合計	7,269,475	6,630,187
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,720,496	11,730,600
減価償却累計額	△9,661,316	△9,763,641
建物及び構築物(純額)	2,059,180	1,966,959
機械装置及び運搬具	10,894,785	11,032,770
減価償却累計額	△8,745,985	△8,877,240
機械装置及び運搬具(純額)	2,148,800	2,155,529
土地	110,608	110,608
リース資産	27,612	27,612
減価償却累計額	△18,868	△21,629
リース資産(純額)	8,743	5,982
建設仮勘定	693,664	655,709
その他	564,408	588,570
減価償却累計額	△527,168	△536,620
その他(純額)	37,239	51,949
有形固定資産合計	5,058,236	4,946,739
無形固定資産		
ソフトウェア	61,551	48,761
その他	10,063	12,224
無形固定資産合計	71,614	60,986

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
投資その他の資産		
投資有価証券	254,373	249,249
破産更生債権等	3,182	3,182
長期前払費用	12,765	10,790
敷金及び保証金	189,123	193,258
退職給付に係る資産	353,164	363,433
繰延税金資産	586,509	546,703
その他	1,104	1,104
貸倒引当金	△3,182	△3,182
投資その他の資産合計	1,397,041	1,364,539
固定資産合計	6,526,893	6,372,266
資産合計	13,796,369	13,002,453

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当中間連結会計期間 (2024年9月30日)
負債の部		
流動負債		
営業未払金	730,306	707,975
1年内返済予定の長期借入金	229,664	229,514
リース債務	6,167	6,195
未払法人税等	197,564	162,972
未払消費税等	73,945	52,577
未払金	509,290	25,297
未払費用	210,395	113,073
賞与引当金	19,531	19,766
その他	38,652	34,259
流動負債合計	2,015,517	1,351,631
固定負債		
長期借入金	378,070	263,388
リース債務	3,623	518
製品保証引当金	1,184	1,097
株式給付引当金	28,523	46,211
退職給付に係る負債	1,951,769	1,953,795
資産除去債務	59,373	60,712
その他	4,381	17,602
固定負債合計	2,426,926	2,343,326
負債合計	4,442,443	3,694,958
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,038,750	2,038,750
資本剰余金	186,785	186,785
利益剰余金	7,354,979	7,325,117
自己株式	△392,441	△392,085
株主資本合計	9,188,074	9,158,567
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,226	13,638
為替換算調整勘定	13,828	18,746
退職給付に係る調整累計額	127,795	116,543
その他の包括利益累計額合計	165,850	148,928
純資産合計	9,353,925	9,307,495
負債純資産合計	13,796,369	13,002,453

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
売上高	6,006,883	6,601,487
売上原価	4,983,081	5,350,580
売上総利益	1,023,802	1,250,906
販売費及び一般管理費	672,464	748,143
営業利益	351,337	502,762
営業外収益		
受取利息	49	56
受取配当金	845	2,260
持分法による投資利益	3,269	10,136
為替差益	1,036	—
受取補填金	—	45,453
その他	2,799	3,755
営業外収益合計	8,001	61,662
営業外費用		
支払利息	1,971	1,375
減価償却費	2,112	575
為替差損	—	11,953
補償関連費用	—	1,304
その他	462	908
営業外費用合計	4,547	16,117
経常利益	354,791	548,307
特別利益		
固定資産売却益	124	4,983
国庫補助金	51,095	—
特別利益合計	51,220	4,983
特別損失		
固定資産除却損	39,056	2,491
固定資産圧縮損	51,095	—
特別損失合計	90,152	2,491
税金等調整前中間純利益	315,859	550,799
法人税、住民税及び事業税	61,241	125,980
法人税等調整額	43,952	49,445
法人税等合計	105,193	175,426
中間純利益	210,665	375,373
親会社株主に帰属する中間純利益	210,665	375,373

中間連結包括利益計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
中間純利益	210,665	375,373
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,691	△10,587
為替換算調整勘定	3,439	4,917
退職給付に係る調整額	168	△11,252
その他の包括利益合計	13,299	△16,922
中間包括利益	223,964	358,450
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	223,964	358,450

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	315,859	550,799
減価償却費	294,120	302,918
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△261	—
製品保証引当金の増減額(△は減少)	21	△87
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△19,810	△21,040
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	11,697	△3,420
株式給付引当金の増減額(△は減少)	11,562	17,687
賞与引当金の増減額(△は減少)	4,213	235
受取利息及び受取配当金	△895	△2,316
支払利息	1,971	1,375
持分法による投資損益(△は益)	△3,269	△10,136
有形固定資産売却損益(△は益)	△124	△4,983
有形固定資産除却損	39,056	2,491
売上債権の増減額(△は増加)	267,013	324,871
棚卸資産の増減額(△は増加)	△76,417	△528,558
仕入債務の増減額(△は減少)	△222,597	△22,330
未払消費税等の増減額(△は減少)	34,929	△21,385
その他	△38,964	△51,036
小計	618,104	535,083
利息及び配当金の受取額	895	2,316
利息の支払額	△2,038	△1,402
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△10,959	△154,390
営業活動によるキャッシュ・フロー	606,001	381,608
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△62,805	△642,144
無形固定資産の取得による支出	△3,133	△2,364
有形固定資産の売却による収入	136	11,555
有形固定資産の除却による支出	△65,546	△2,419
敷金及び保証金の差入による支出	△5,837	△8,663
敷金及び保証金の回収による収入	5,884	4,528
その他	39	△2,613
投資活動によるキャッシュ・フロー	△131,262	△642,120
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△134,932	△114,832
配当金の支払額	△326,146	△405,111
リース債務の返済による支出	△3,048	△3,076
財務活動によるキャッシュ・フロー	△464,127	△523,019
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,653	7,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,265	△775,873
現金及び現金同等物の期首残高	4,230,689	3,848,921
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,243,955	3,073,047

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引)

当社は、2022年12月22日開催の取締役会決議に基づき、「株式給付信託(J-ESOP)」(以下「本制度」という。)を、2024年3月期より導入しております。

(1) 取引の概要

本制度は、予め当社が定めた株式給付規則に基づき、一定の要件を満たした従業員に対して当社株式を給付する仕組みです。

当社は、従業員に対し等級等に応じてポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式を給付します。従業員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分別管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式は、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度末390,893千円、439,700株、当中間連結会計期間末390,537千円、439,300株であります。

(セグメント情報等)

I 前中間連結会計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	動力供給事業	エンジニアリング 事業	商品販売事業	合計
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	2,772,129	2,842,961	355,500	5,970,591
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	—	—	—
顧客との契約から生じる収益	2,772,129	2,842,961	355,500	5,970,591
その他の収益	—	—	36,291	36,291
外部顧客への売上高	2,772,129	2,842,961	391,792	6,006,883
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,772,129	2,842,961	391,792	6,006,883
セグメント利益又は損失(△)	467,485	541,505	△31,577	977,414

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	977,414
全社費用(注)	△626,077
中間連結損益計算書の営業利益	351,337

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	動力供給事業	エンジニアリング 事業	商品販売事業	合計
売上高				
一時点で移転される財又はサービス	2,970,867	3,145,621	400,608	6,517,097
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	—	31,739	—	31,739
顧客との契約から生じる収益	2,970,867	3,177,361	400,608	6,548,837
その他の収益	—	—	52,649	52,649
外部顧客への売上高	2,970,867	3,177,361	453,258	6,601,487
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	2,970,867	3,177,361	453,258	6,601,487
セグメント利益又は損失(△)	594,636	636,388	△29,342	1,201,682

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と中間連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,201,682
全社費用(注)	698,920
中間連結損益計算書の営業利益	502,762

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。